

\mathbb{Z} のイデアル H が,

- $H = \{0\}$ のとき
 $H = (0)$ で 単項イデアル.

- $H \neq \{0\}$ のとき

\mathbb{Z} が離散で、 H は正の元を含むので、 H には正の最初の元が存在する.

これを h_0 とする.

すると、 $h_0 \in H$ より、 $(h_0) \subset H$

$H \neq (h_0)$ ならば、 $x \in H - (h_0)$ があって、 x を h_0 で割ると、

$x = h_0q + r$ ($-\leq r < h_0$) とできる.

$x \notin (h_0)$ より $r \neq 0$

H が加法に関して部分群だから、 $x \in H - (h_0)$ なら $r \in H - (h_0)$

h_0 の最小性に矛盾